第４回福岡市地球温暖化対策実行計画協議会　議事録（要旨）

日時　平成 28 年８月９日（火）9 時 55 分～11 時 20 分
場所　天神ＮＫビル　Ａ＋Ｂ会議室

議事及び主な意見

１．福岡市地球温暖化対策実行計画の素案について

・(67 ページ)「コラム　成果指標とは？」の中に、「温暖化対策の取組を着実に実施することでエネルギーの消費量は削減されますが，取組毎の削減量を～」とあるが、「取組」が何を示しているのかがわかるように、説明を追加すること。

・(70 ページ) 産学官の連携について、市が持っている再生可能エネルギーによる発電量の時間変動やエネルギー消費量などのデータを公表すれば、「学」によるスマートコミュニティやＺＥＢの実現に向けた研究も進むと思う。「学」側へデータを提供することを検討してほしい。

・(84 ページ) 赤枠の図は、右上が切れている。全体が入るように工夫をすること。

・(86 ページ) ３行目の施策には「遮熱」の概念が含まれていない。カーテンだけでは、外からの熱を遮断する効果が低いので、取り組み内容に取組内容に「オーニング」や「よしず」などを追加するべきである。

・(92 ページ) ＩＳＯ14000、エコアクション 21 の取組を推進するために、各主体の連携の面から、市では認証を受けている事業所を対象とする優遇制度を実施している。ただし、ＩＳＯ14001 の規格の変更などにより、認証を返上する事業所は全国的に増えており、費用をかけて認証を受けなくても取組は実施している事業所が多いことから、記載の修正についても検討する必要がある。

・(96 ページ) ごみ発電による電力の自家消費量が市役所の取組としてカウントされていない。その数字が把握できるのであれば、記載すべきではないか。それによって、市役所の削減目標を増やせるかもしれない。

・(100 ページ)「スマート市役所」と記載しているが、「スマート」は、市役所と周辺施設をユニットとした面的利用の取組を含んでおり、市役所だけのＺＥＢや未利用エネルギーの有効活用などに、「スマート」という表現を使うのは適切ではない。表現を変えて 99 ページの「省エネ対策」と 100 ページの「再生可能エネルギー・未利用エネルギーの有効活用」の両方に入れるか、削除することを検討すること。

・(101 ページ) ２つ目の「地下鉄事業」について、市営の地下鉄があることを活かして、「ゼロエミッションステーション」を作ることを検討してはどうか。（計画にそのことを記載するかどうかは別として）市のシンボルにもなると思う。

・「取組」と「取組み」が混在しないように修正すること。

・計画の策定後は、市民・事業者と市が連携し、着実に推進していかないといけない。

２．その他

・次回の協議会の開催については、10 月に実施する予定のパブコメの意見を踏まえて、会長と相談した上で日程を調整し、委員へお知らせする。